



UNIVERSITY of CAMBRIDGE  
ESOL Examinations

Cambridge English  
Teaching Qualifications

# TKT *all modules*

Teaching Knowledge Test - Flexible assessment for language teachers

## 英語教授知識認定テスト



「英語教授法に関連した最新のコンセプトや教授法を学ぶことができ、TKTを受験した経験は貴重でした。英語指導に関わるスキルや知識を測りたいと思っておられる教員の方なら、どなたでもお勧めしたいテストです。受験したおかげで授業に自信をもって臨めていますし、生徒のスキルも向上しています。」

ロゲリオ・ゴメス・ゲヴァラ、英語教師、*Instituto Oriente de Puebla*, メキシコ

# キャリアとしての英語教授

英語を教えることは、楽しくやりがいのある専門職であり、自国で求められる生涯のキャリアに出会うチャンスにつながっているといます。

英語教授知識認定テスト(TKT)は次のような方のために開発されたテストです：

- 既に教員の経験はあるが、自分の経験に対する公式な評価を得るために国際的に認知された資格を取得したい方
- 自らの経験をスペシャリストの分野にまで広げることにより、さらにキャリアを向上させたい方
- 常に最新のものを自分の教授スキルにとりいれたい方

TKTの受験準備をすることにより、教員としての自信が付き、キャリアの向上に役立つ知識とスキルが身に付きます。

## 教授資格取得への柔軟なパス

TKTはモジュール制で、仕事やその他の責任を果たしながら状況に合わせて学習を進めることができる柔軟な構成となっています。自身のニーズに合わせて時間をかけてモジュールを受験していくことが可能です。

TKTは、優れた指導法の基礎を全て網羅しているので、受験の準備段階でそれぞれの国や地域のニーズに合わせるすることができます。TKTの指導を行っているTKTセンターは、地域の教授環境に適した準備シラバスを独自に設定することが可能です。



「TKTは単に知識を測定するためのテストではない。外国語教員なら誰もが備えておくべき知識と技能が備わっているかどうかを検証するためのツールである。わが国の教員採用試験としても参考になるところが少なくない。少なくとも、ALT採用試験として今すぐにでも実施すべきだろう。言葉ができて生徒への愛情があれば十分と思っている人がいれば、一度はこのテストに目を通すべきである。結果はどうあれ、このテストを受ける過程から、一問解けばそれだけ実践的な知識が身につくということが実感できるに違いない。」

上智大学外国語学部 教授 渡部 良典(日本)

タイ\*でTKTを受験し、サンプルとして抽出された90%以上の教員が、TKTを「役立つ」と答え、TKTによって「引き続き向上に努めたいというモチベーションが高まった」と回答した教員が80%強にのびりました。

\*タイ王国教育省では、教員の英語力を測るプレースメント・テストの結果をもとにTKT準備コースに参加できる教員を約20,000人に絞り、さらにTKTの成績優秀者には4週間の英国ケンブリッジ英語教員研修への参加機会を提供しました。教員の指導力強化のための国の施策にTKTが活用されている一例です。

# TKT: 語学教師のための柔軟な学習

TKTは独立したモジュール（パート）で構成されています。全モジュール、あるいは自分のニーズを満たすモジュールのみ選択して受験することが可能です。いつ、どのようにモジュールを受験するかについては、受験者の判断に委ねられており、モジュール毎に認定証（サーティフィケート）が発行されます。

なお、モジュールは2つの主な分野に分かれています。

## TKT – 基本モジュール (core modules)

基本モジュールには、語学教育の実践および原理の基盤を養うために考案された、次の4つのモジュールがあります。

- TKT: モジュール1 — 言語教授に関する知識と背景
- TKT: モジュール2 — 語学教育のための授業計画と教材活用法
- TKT: モジュール3 — クラス運営
- TKT: 実技 (practical) — 授業力評価



## TKT – specialist modules

専門モジュールは、語学教育の専門的な分野への入門編といえます。基本モジュールと別々に受験でき、基本モジュールに追加して受験することも可能です。

- TKT: CLIL（内容言語統合型学習）  
第二言語や第三言語を介してカリキュラム教科を教えるという興味深いアプローチ「CLIL: 内容言語統合型学習」を理解するためのテスト
- TKT: Knowledge About Language（言語に関する知識）  
教える観点から言語システムに関する理解および知識を測るテスト
- TKT: Young Learners（教える対象が年少者）  
6～12歳の年少者指導に関する背景知識を測るテスト



# TKT – 基本モジュール (core modules)

## TKT:モジュール1 言語と言語学習・言語教授 に関する知識と背景



3つのパートで構成されています。

- 記述言語と言語スキル
- 言語学習に関する背景
- 言語教授に関する背景

### TKT:モジュール1で何をテストするのか?

英語教授法において共通する用語や概念に関する受験者の知識をテストします。また、英語学習を実証する基本知識、教員が授業で使える教材やオプションに関する知識にも焦点を当てています。

### テストの概要

TKT:モジュール1は試験時間80分で80問の設問に答えるテストです。記述言語と言語スキル (40問)、言語学習に関する背景 (15問)、言語教授に関する背景 (25問) の3つのパートに分かれています。

## TKT:モジュール2 授業計画と言語教授のため の教材活用法



2つのパートで構成されています。

- 1回の授業あるいは連続した授業の計画と準備
- 教材の選択と活用法

### TKT:モジュール2で何をテストするのか?

1回の授業の枠組や連続した授業を計画するのに必要な教員の知識およびスキルに重点が置かれたテストです。こうした指導に関連して、英語学習効果を高めるために必要ないろいろな評価についても触れています。また、授業計画に役立つ教材等にも焦点を当てています。

### テストの概要

TKT:モジュール2は試験時間80分で80問の設問に答えるテストです。1回の授業あるいは連続した授業の計画と準備 (40問)、教材の選択と活用法 (40問) の2つのパートに分かれています。

## コンピューターベース・テスト

コンピューターベース・テストはコンピューターによる受験を希望する受験者が気軽に選択できるテストです。また、試験日の設定が増えるため、より柔軟な日程でテストに臨める利点があります。

コンピューターベースのTKT:モジュール1~3の試験日は、年間15回設定されています。

コンピューターベース・テストの試験日程については、ウェブサイト

([www.CambridgeESOL.org/TKT](http://www.CambridgeESOL.org/TKT)) をご覧ください。

## TKT:モジュール3 指導プロセス・学習プロセス の管理



2つのパートで構成されています。

- ・ 教師と生徒が用いる教室用語
- ・ クラス運営

### TKT:モジュール3で何をテストするのか?

言語を学習する際に授業で行うことに関する受験者の知識を測るテストです。教員の役割のほか、教員が授業イベントや教室内コミュニケーションを管理、有効活用する方法についてもこのモジュールで扱います。

### テストの概要

TKT:モジュール3は試験時間80分で80問の設問に答えるテストです。教師と生徒が用いる教室用語(40問)、クラス管理(40問)の2つのパートに分かれています。

## TKT: 実技 (Practical)



TKT:実技(Practical)では教員が自分の授業力を分かりやすい方法で証明するテストです。自らスキル向上に努め、指導力の正式な証明を必要とする教員にとって理想的なテストといえます。

なお、TKT:実技(Practical)を専門的能力開発コースの一部として受験を希望する教員の方もいますが、要件にはなっていませんのでご注意ください。

### TKT:実技(Practical)で何をテストするのか?

TKT:実技(Practical)の評価項目

- ・ 授業計画
- ・ クラス運営
- ・ 指導力

### テストの概要

ケンブリッジ大学ESOLの審査員が受験者の授業力を観察して行うテストです。審査員は40分間の授業、あるいは20分間の授業を2回(うち、1回は別の教員との間で行うピアツーピアの授業であること)観察します。教員研修、あるいは教員の専門的能力開発コースの一部としてテストを活用できます。また、受験者が既に教員である場合、TKTセンターが合意すれば自分のクラスの生徒を対象に授業観察を行って受験することが可能です。

なお、受験者は授業計画を評価用に作成する必要があります。授業計画の書式はケンブリッジ大学ESOLが用意しますのでご注意ください。



# TKT – 専門モジュール (specialist modules)

## TKT: Knowledge About Language

TKT: Knowledge About Language (言語に関する知識) とは?

英語という言語に関する知識を測るテストです。



## TKT: CLIL

TKT: CLIL (内容言語統合型学習) とは何か?

学習者の母語 (第一言語) ではない言語を介してカリキュラム教科を教えるアプローチ「CLIL: 内容言語統合型学習」を理解するためのテスト



## TKT: Knowledge About Language で何をテストするのか?

教員に必要な言語システムに関する知識をテストします。また、教員が学習者の言語ニーズや、第二言語を学ぶ過程で生徒が直面する課題に気付いているかについても重点が置かれています。

### テストの概要

TKT: Knowledge About Language は、試験時間80分で80問の設問に答えるテストです。教える観点から英語という言語に関する知識を測るテストで、「語彙」「音韻論」「文法」「談話」の4つのパートに分かれています。

## TKT: CLIL で何をテストするのか?

TKT: CLILは目標言語を用いての内容指導や異なるカリキュラム教科にわたって開発された学習・思考・言語スキルに関する知識を問うテストです。授業計画の立て方のほか、CLILアプローチを支えるアクティビティや教材に関する知識もテストします。また、授業実施に関する知識やCLILを用いて行われる授業の評価方法についてもテストします。

### テストの概要

TKT: CLIL は、試験時間80分で80問の設問に答えるテストです。「CLILの原理に関する知識」「CLILを用いた授業の準備」「授業実施」「評価」の4つのパートに分かれています。

## 用語集 (Glossaries)

ケンブリッジ大学ESOLでは、教育実習中の教員をサポートするため、用語集を作成しました。TKT用語集には、TKTモジュール合格のために理解しておくことと良い、指導する際に使われる主要な言葉や概念が全て収められています。

<http://www.cambridgeesol.org/assets/pdf/exams/tkt/tkt-glossary.pdf>

また、学習者の母語 (第一言語) ではない言語を介して教科の内容を教えるCLILの専門用語や概念について解説した「TKT: CLIL用語集」も作成しました。併せてご利用ください。

[www.CambridgeESOL.org/assets/pdf/exams/tkt/clil-glossary.pdf](http://www.CambridgeESOL.org/assets/pdf/exams/tkt/clil-glossary.pdf)



## TKT: Young Learners

TKT: Young Learners (教える対象が年少者) とは何か?



TKT: Young Learners は、年少者指導に必要とされる戦略やスキルに関する知識を測るテストです。

TKT: Young Learners は、初等教育に従事する国際的な教員 (あるいは目指している方) に適したテストです。

TKT: Young Learners で何をテストするのか?

TKT: Young Learners は、6~12歳の年少者指導に関する背景知識を測るテストです。また、授業計画の理解、異なる指導戦略や学習評価に関する理解度もテストします。

### テストの概要

TKT: Young Learners は、試験時間80分で80問の設問に答えるテストです。年少学習者を対象とした「学習と発達」「授業計画」「指導戦略」「教室中心の評価」の4つのパートに分かれています。

「正式な教授資格を有していなかったのに、正式な認定証が欲しいと思いTKTを受験しました。それまで考えたこともなかった、たくさんの英語の興味深い点についても学びました。」

クリスト・デー (日本)



「TKTは教職でもっとも認知されている資格の一つです。教員としての能力を評価し、英語教員にとって必要不可欠な知識を与えることに重点を置いているので、この認定証を私たちのカリキュラムに加えることができ、誇りに思っています。世界で最も有名な大学の一つであるケンブリッジ大学が開発したTKTにより、教員にとっていろいろな可能性が確実に広がると思います。」

アドリアーナ・モラレス・オルグイン、英語コーディネーター、Los Sauces幼稚園 & Los Sauces大学、プエブラ州、メキシコ

# TKTの対象は？

TKTは、全ての教員の方に適したテストです。個人の経歴や教職経験を問いません。

また、受験者の英語力について正式な語学要件はありませんので、気軽に受験いただけるテストです。

## 結果

TKTの結果は、バンド・スコア1～4の4段階評価で報告されます。各受験者は、受験したモジュール毎に認定証の発行を受けます。

ケンブリッジ大学ESOLが解答用紙を受理した日から約2週間後に、センターを通じてTKTの結果が発行されます。

## 登録方法

試験日から起算して6週間前に当たる日までTKTの受験申込みが可能です。あるいは、コンピューターベース・テストで受験する場合は、1週間前まで申込みを受け付けています。

TKT用の準備コースは、ケンブリッジ大学ESOLによって作成された試験の規格に基づいて、TKTセンターが独自に考案したものです。TKTはケンブリッジ大学ESOLが認定したセンターのネットワークを通じて世界中で提供されています。最寄りのTKTセンターに関する情報は、[www.CambridgeESOL.org/centres/teach](http://www.CambridgeESOL.org/centres/teach) でご確認ください。

## TKTの次に目指す英語教授法資格認定試験は？

TKT受験後、もっと知識を拡充したいと考える教員の方には、CELTA\* や DELTA\*\*など、ケンブリッジ大学ESOLの資格で定評のある別の資格にトライすることをお勧めします。

\*Certificate in Teaching English to Speakers of Other Languages（英語を母語としない人に英語を教えるためのサーティフィケート）

\*\*Diploma in Teaching English to Speakers of Other Languages（英語を母語としない人に英語を教えるためのディプロマ）





Facebook.com/CambridgeESOL



Twitter.com/CambridgeESOL



YouTube.com/CambridgeEnglishTV

## お問い合わせ

TKTに関する詳しい情報は  
[www.CambridgeESOL.org/TKT](http://www.CambridgeESOL.org/TKT)をご覧ください。



**UNIVERSITY of CAMBRIDGE**

ESOL Examinations

ケンブリッジ大学ESOL英語検定 (Cambridge ESOL) は、ケンブリッジ大学の一部門であり、欧州最大規模を誇る教育評価機関であるケンブリッジ・アセスメントグループの一機構です。英語の学習や指導に関して、世界をリードするさまざまな資格認定サービスを提供しています。受験者数は、世界130カ国でおよそ年間330万人に上り、大学・企業・省庁など13,000を超える世界中の機関が、英語力の証明として Cambridge ESOLの資格テストを認知、活用しています。

[www.CambridgeESOL.org/japan](http://www.CambridgeESOL.org/japan)

## Contact details

University of Cambridge

ESOL Examinations

1 Hills Road

Cambridge

CB1 2EU

United Kingdom

Tel: +44 1223 553997

Email: [ESOLhelpdesk@CambridgeESOL.org](mailto:ESOLhelpdesk@CambridgeESOL.org)

(Japan Office) [info@CambridgeESOL.jp](mailto:info@CambridgeESOL.jp)

(英) [www.CambridgeESOL.org](http://www.CambridgeESOL.org)

(日) [www.CambridgeESOL.org/japan](http://www.CambridgeESOL.org/japan)



ISO 9001:2008  
155146179



© UCLES 2011 EMC/6683/1Y09

**\*0384299725\***